



三味線名曲選 オンライン同時配信コンサート

2022年7月8日 (金)
18:30開演 (18:00開場)

代々木上原 ムジカーザ
入場料 3,000円 (50席限定)

YouTubeにて無料ライブ配信 (無料)



主催：穂積大志
助成：公益財団法人東京都歴史文化財団
アーツカウンシル東京【スタートアップ助成】

ARTS
COUNCIL
TOKYO



春
月
鳴
訊



syami.com/Live78



主催・出演：穂積大志（三味線）

三味線演奏家・長唄三味線方（東音穂積大志）
福島県福島市出身、上智大学卒、東京芸大別科卒。
NHK邦楽オーディション合格、長唄東音会、NPO日本音楽集団の
海外公演メンバーとして、ブラジル・イギリス・アメリカ3都市ツ
アー・インドネシア公演に出演。同インドネシア公演 派遣団長。
くまもと全国邦楽コンクール優秀賞（杵屋正邦作曲「去来」）
「志の輔らくご in PARCO」2011、2014～2016年出演。

ゲスト出演：帯名久仁子（十七絃箏）

島根県津和野町出身。東京藝術大学邦楽科・同大学院音楽研究科修
了。NHK邦楽技能者育成会卒業。
箏とギターのユニットAKI&KUNIKOとしてヨーロッパでCDデビ
ュー、世界各地で公演を行う。
宮城合奏団団員。箏曲宮城社大師範。ことのね会主宰。出雲芸術アカ
デミー音楽院客員教授。東京藝術大学音楽学部邦楽科講師。



ゲスト出演：阪口夕山（尺八）

1957年大阪府生まれ。都山流尺八を中村希山氏、普化尺八を三橋
貴風氏に師事。
第4回長谷検校全国邦楽コンクールにおいて、尺八部門第1位優秀賞
を受賞。第7・8回同コンクール奨励賞を連続受賞。
平成28年（第71回）文化庁芸術祭優秀賞を受賞。NHK邦楽オーデ
ィション合格。日本音楽集団団員。（公財）都山流尺八楽会 竹琳
軒大師範。大阪音楽大学非常勤講師。豊中三曲協会 会長。

ゲスト出演：三宅礼子（箏）

東京藝術大学卒業、同大学院修士課程修了。学部在学中に安宅賞を
受賞。1984年日本箏曲連盟主催コンクール優秀賞。NHK邦楽オー
ディション合格。
古典から現代音楽、ポップスフィールド、オーケストラとの共演、
海外公演、教育現場でのコンサート、レコーディング、ワークショ
ップなど日本の楽器の魅力を伝えるべく幅広く活動中。現在、正派
邦楽会師範、日本音楽集団団員、森の会会員、千葉大学非常勤講師。



1. 春三題 [I. 若草、II. 陽炎、III. 花吹雪] (1977年／長沢勝俊)

〔地歌三味線〕 穂積大志 〔箏〕 三宅礼子

三味線と箏の二重奏。初演は沢井忠夫（三味線）、沢井一恵（箏）。初演以降、地歌三味線（中棹）での演奏が多く行われる。

春によせる三つの心象的なスケッチです。各章ともにそれぞれ題名がついていますが、いわゆる描写音楽ではありません。四季の変化に富んだ日本。特に日本の春は急速にやってくる北国の春と違い、おだやかで心もなごむものです。

しかしそのなごやかさの中にも、ささやかな新しい生命の誕生と躍動が私たちに生きていることの喜びを感じさせます。地歌三味線と箏の二重奏という伝統の土壌に深く根をおろした組み合わせをとりながら、従来の手事とは異なったアングルから作曲者の春への思いが歌われています。 [日本音楽集団ノート]

2018年1月、日本音楽集団 第223回定期演奏会「三本の糸の小宇宙～三味線特集」にて、三宅氏と共演。

2. 三味線と十七絃箏のための 海鳴り (1998年／石井由希子)

〔三味線〕 穂積大志 〔十七絃箏〕 帯名久仁子

三味線と十七絃箏の二重奏。

うみなり【海鳴り】：海の方から鳴り響いてくる遠雷のような低い響き。うねりが海岸で砕けるときに空気を巻き込んで発する音。しばしば台風や津波などがくる前兆とされる。

海のうねりを思わせるような十七絃箏の序奏で始まり、三味線はリズムを鋭く刻みます。中間部では、十七絃箏の穏やかなメロディの上で三味線は余韻を響かせます。終結部では、二つの楽器が一丸となって激しく海の詩（うた）を奏します。

[作曲家ノート]

2009年9月、広島県神石郡神石高原町やまなみホールで開催された「いちえの会コンサート vol.7」で帯名氏と共演。

3. 月影幻想曲 三味線と尺八のための (2008年/Marty Regan)

〔三味線〕 穂積大志 〔尺八〕 阪口夕山

原題：Shadows of the Moon 三味線と尺八の二重奏。

古典では珍しくないこの二種の楽器の二重奏は、現代作品としては稀有であり、前回の「明鏡」（杵屋正邦）に並び貴重なレパートリーとなる可能性が感じられる。

「月影幻想曲」は和楽器の為に作曲した曲の中で、最も暗く、渋い作品の一つである。この詩的な曲名は、音楽の暗さや遠さという特性を描写する。

月のある部分が、ゆっくりと闇の中へ沈み、そしてまた光の中に現れるといった、月の自転をイメージする事によりインスピレーションを得た。

[作曲者ノートより抜粋] (全文はWebサイト参照)

2016年日本音楽集団アメリカ3都市ツアー、Asia Society Texas Center (テキサス州ヒューストン) にて演奏。

4. 三色のダイアログ (2000年/吉崎克彦)

〔三味線〕 穂積大志 〔十七絃箏〕 帯名久仁子 〔尺八〕 阪口夕山

三味線、十七絃、尺八による三重奏。

ダイアログとは対話の意味で、途中で地歌「黒髪」の一節が引用されている。

三絃・十七絃・尺八……三つの音彩は、互いの主張を断固として譲らない。古典から現代への時の壁を飛び越えることで、近くて遠い三色の融合を生むことが出来ないだろうか。音彩を失うことなく、互いの対話を具現化できないものだろうか。はてさて、このモチーフの再現は、まるで難破船のように果てしない旅であった。[作曲者ノート]

2015年9月、「いちえの会コンサート vol.13」にて、帯名氏・夕山氏と共演。

スタッフ：Web配信監督…………… 沖政一志
ステージマネージャー…………… 金子宜弘
協力…………… かねこ琴三絃楽器店